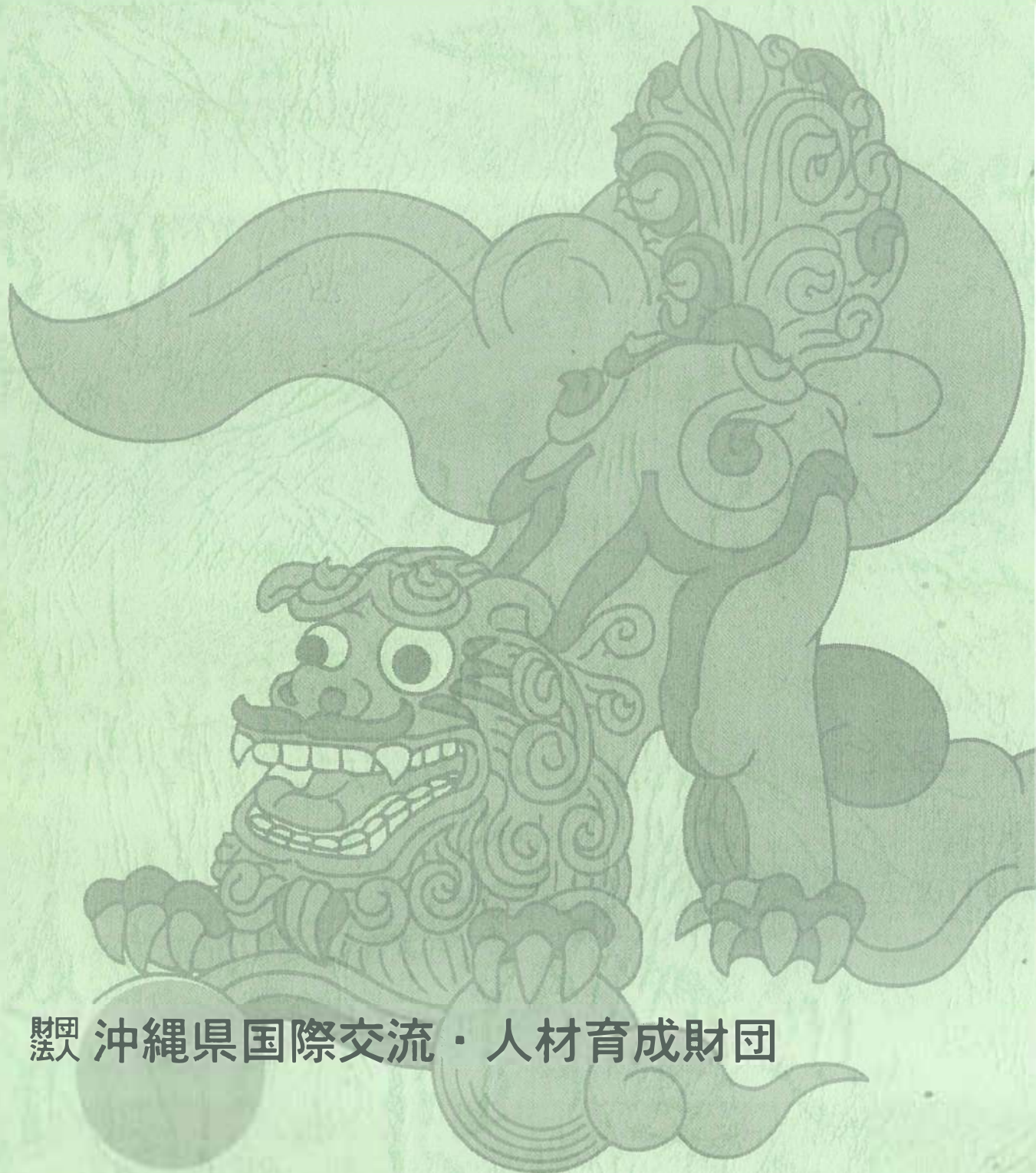


課内保管用

※配付厳禁※

平成17年度

沖縄県海外留学生修了報告書



発行 沖縄県国際交流・人材育成財団

はじめに

沖縄県海外留学生受入事業は、当財団が沖縄県より受託して行っております。

平成17年度は、琉球大学に海外移住者子弟留学生4名・アジア諸国等海外留学生4名、県立芸術大学に海外移住者子弟留学生2名、名桜大学に海外移住者子弟留学生3名の合計13名を受け入れました。

この事業は、本県出身移住者の子弟及び歴史的に繋がりの深い中国・台湾から優秀な人物を選抜し、県内の大学に留学させ、日本の文化・産業・教育及び社会の実状を理解させるとともに、県民との交流を深め、広く移住先国及び出身先国の発展に貢献しうる有為な人材として育成し、本県との国際交流を促進することを目的としております。

この報告書は、留学生が本県での留学中に感じた日本・沖縄に対する率直な意見や感想、大学での就業成果等をまとめたものです。学内スピーチ大会や、研究テーマ発表へ向けての取り組み、ホームビジット・ホストファミリーとの交流など、様々な経験を経て成長していく姿が垣間見えると思います。本書が、当事業理解の一助となれば幸いです。

本事業実施に際し、留学生を受け入れていただきました琉球大学、県立芸術大学、名桜大学、並びに関係者の方々に対し、心から感謝申し上げます。

財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団
理事長 山内 彰



平成18年2月16日(木) 自治会館にて

平成17年度沖縄県海外留学生名簿

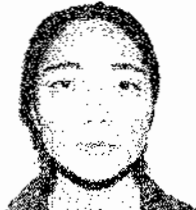


1 海外移住者子弟留学生（琉球大学 4名）

写 真	氏 名	出 身 地	受入大学
	金城 アグスティン AGUSTIN KANASHIRO	アルゼンチン ARGENTINA	琉球大学 共通教育等 科目等履修生
	沢岨 クリスティーナ 奈々美 CHRISTINA NANAMI TAKUSHI	アメリカ U.S.A.	琉球大学 共通教育等 科目等履修生
	渡辺 佳子 KEIKO WATANABE	アメリカ U.S.A.	琉球大学 共通教育等 科目等履修生
	仲泊 兼貴 ロッキー KENKI ROCKY NAKADOMARI	カナダ CANADA	琉球大学 法文学部 科目等履修生

2 海外移住者子弟留学生 (芸術大学 2名)

写 真	氏 名	出 身 地	受入大学
	宮城 美幸 エリーザ ELIZA MIYUKI MIYAGI	ブラジル BRASIL	県立芸術大学 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース
	斉藤 悟 レアンドロ LEANDRO SATORU SAITO	ブラジル BRASIL	県立芸術大学 琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

3 海外移住者子弟留学生 (名桜大学 3名)

写 真	氏 名	出 身 地	受入大学
	田代 エリカ ERIKA TASHIRO	アルゼンチン ARGENTINA	名桜大学 特別聴講学生 (日本語、比較芸術論、 アジア事情概説等)
	山入端 伊良波 カローラ CAROLA YAMANAJA YRAHA	ペルー PERU	名桜大学 科目等履修生 (日本語、 アジア事情概説)
	ブラジル 玉城 ジュリー JULY BRASIL TAMASHIRO	ボリビア BOLIVIA	名桜大学 科目等履修生 (日本語、 アジア事情概説)

4 アジア諸国等海外留学生（琉球大学 4名）

写 真	氏 名	出 身 地	受入大学
	鄭 純綾 CHENG CHUN LING	台 湾 TAIWAN	琉球大学 法文学部研究生 人間科学科 社会学専攻
	廖 偉汝 LIAO WEI JU	台 湾 TAIWAN	琉球大学 共通教育等 科目等履修生
	陳 燕平 CHEN YANPING	中 国 CHINA	琉球大学 共通教育等 科目等履修生
	吳 敏玲 WU MINLING	中 国 CHINA	琉球大学 法文学部研究生 国際言語文化学科 東洋文化専攻

目 次

○海外移住者子弟留学生(9名)

・ 世界観と視野が広くなりました。	金城 アグスティン	1P
・ 沖縄で学んだこと	沢岨 クリスティーナ 奈々美	2P
・ 楽しかった。	渡辺 佳子	4P
・ 勘違いしていませんか？	仲泊 兼貴 ロッキー	7P
・ 沖縄でのすばらしい経験	宮城 美幸 エリーザ	9P
・ うちなー大好きさー！！	斉藤 悟 レアンドロ	12P
・ 天からの贈り物	■代 エリカ	13P
・ 私の原点を探しもとめて	山入端 伊良波 カローラ	15P
・ 皆に伝えたい一年間	ブラジル 玉城 ジュリー	17P

○アジア諸■等海外留学生(4名)

・ 沖縄一年感想	鄭 純綾	19P
・ 沖縄の日々	廖 偉汝	21P
・ 笑いたい！泣きたい！沖縄！！	陳 燕平	28P
・ 島んちゆぬ宝	吳 敏玲	31P

世界観と視野が広くなりました。

金城 アグスティン

私は沖縄に来る前までは、自分のアジアに対するイメージはアジアとは紙に書いてある地図しか思い浮かびませんでした。沖縄に来て色んな人と出会ったり、色んな文化を知ったりしたので世界観と視野が広くなりました。沖縄で留学が出来るのは素晴らしいチャンスだと確信しました。

琉球大学側から様々な活動やイベントをしてくれました。5月から留学生センターで他の留学生と日本人の大学生とは三線を習っています。10月からは、弓道部に入って日本の古い文化にも触れました。みなさんご存知のとおり、三線や弓道を1年という短期間でマスターすることは難しいことだと思いますが、沖縄に来なかったらこういう文化的な活動をする機会はなかったでしょう。

7月に慶良間諸島の阿嘉島に行きました。そこで研究者やダイバーと話すチャンスがあり、その時に珊瑚の環境問題についての話題に触れました。それで、その時から私も環境問題について考えるようになりました。現在、多くの珊瑚がまだ沖縄の離島には残っていて、私たちはその珊瑚を楽しむ事が出来ます。将来のために珊瑚がなくなるように大切にしようと思います。

そして9月に東京で行われた日系大会に参加が出来て、色んな国のおもしろい人達と知り合う事が出来て本当によかったと思います。今でもその時に知り合った皆と連絡を取っています。

最後に、色んな交流が出来て、イベント、見学や祭りに行ったことを忘れません。ですからたくさん面白い経験をして、心を豊になった事が出来たのは皆に感謝したいと思います。

沖縄で学んだこと

琉球大学の留学のおかげでいろいろなことを学びました。琉球大学でももちろん、日本語を沢山勉強したけど、ドイツ語も少し勉強しました。先生たちは一生懸命日本語を教えているだけではなく、日本と沖縄の文化も教えてくれました。でも、私は「やなわらば」ですから機会があれば、いたずらをします。私の楽しみは日本語の先生たちを困らせることでした。先生たちと仲良くなり、楽しく勉強できました。でも、琉大に来たばかりの時、琉大の悪いところしか見えませんでした。寮は古いし、お風呂は別の建物にあって、お湯がでないし、クーラーもありません。とても住みにくいです。そして、学校の図書館にはコンピュータがありませんし、教室にコンピュータもワイヤレス(インターネット)がないので、何回もあきれられました。

学校で学んだことの中で一番嫌なのは日本の上下関係です。日本の社会はかたいと分かっていたのですが、沖縄に来るまでに無関心でした。でも、大学の留学生スピーチ大会のスピーチを書く時、先生と言葉を交わしました。なぜなら、私の言いたいことが言えないし、私のスピーチではなくなりました。せっかく、面白いスピーチを書いたのに、そのスピーチができなくなりました。

ここで、学んだことの中で一番大切なことは私の宗族についてです。昔から私は母方の親戚と仲がいいから、できるだけ名護に遊びに行きました。かわいい子供たちがいるし、猫と犬もいるから、にぎやかな家です。二歳の従姉妹と初めて会ったし、従姉妹の生まれたばかりの娘に会いました。親戚の家で皆は話ながら、お酒を飲むので私は親戚の家が大好きです。そして、どんなことがあっても、助けしてくれるから感謝しています。私が小さい時から面倒を見てくれたので、私は日本語や沖縄の文化に興味を持っています。



私と親戚



従姉妹の子供たち

でも、沖縄に来る前に、父方の親戚のことが何も知りませんでした。初めて、沖縄に住んでいる沢岬の親戚に会って、話しをして、いい思い出を作りました。そして、誰も沖縄にいる父方の親戚と親しくしていませんので、この一年の一つの目的は沢岬町の親戚を探して、話すことでした。

そして、私はおじいちゃんの従兄弟と話しができました。それはいい経験になりました。私が出会った親戚は人気があるレストランを持っている人です。おじさんが私の宗族について話してくれたし、ケーキも奢ってくれたし、とても楽しかったです。話し、私は「ハワイ沖縄センター」の知り合いは私の遠い親戚だ、ということを知りました。とてもびっくりしました。それを知ったときはディズニーの名曲「It's a Small World」が頭をよぎりました。沖縄は狭いと感じました。

この一年は、沖縄のことがよく分かったし、親戚の優しさにも触れることができたので、とても良い経験でした。また機会があれば、今度は遊びに来ます(勉強はもう懲り懲りです)。



楽しかった。

♪♪♪♪ Happy (ノ^^)又(^^)ノ Happy ♪♪♪♪
♪(o=▽)人(▽=o)♪ルンルン♪(o=▽)人(▽=o)♪
(σ_σ)人(σ_σ)オトモダチイッパイ♪
↑ 日本の若者文化

琉大に来て習った事といえればいろんな事があります。しらなかったことがあれば、知っていたこともありました。それにいろんな経験をしました。いい事もあれば、悪い事もあって、びっくりした事もあれば、呆れる事もありました。でも、本当に楽しかったです。

私が留学ができると報告されたのは昨年(2004年)の2月でした。でも、実際行けたのは、4月の半ばでした。私だけ!?と聞いていたら、何と、私は県費の中で来た方だったのです(・・・ビックリというよりあきれました)。寮も寮の風呂場にもびっくりしました(いろんな意味で)。でも、私はこの留学や琉大の様々な点について話すつもりが無いからその話は別の機会にします。

ここにきてよかったなと思ったところは何点かあります。一つは私の親戚です。私には沖縄に母側の家族がいます。私は、やっとゆっくり祖父母と話ができるような機会ができました。そして、祖父母の戦争の経験も聞く事が少しできました。ちょうど六十年記念に関係して、いろんなテレビのプログラムや展示がありましたから、見に行きました。私のカワイイ従姉弟たち(三人とも私より年下)と遊びましたが、まだまだなついてくれない様子で残念です。でも、今回は、ちゃんと誕生日やクリスマスにプレゼントをあげられて(アメリカからお菓子を送るだけじゃなく)、私(一人が・・・)満足しています。でもめげてません!

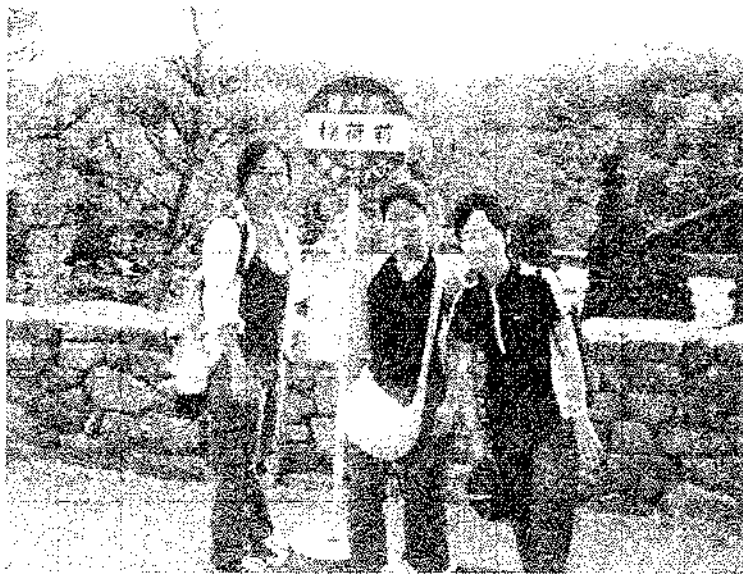


2005年4月30日

ビーチに遊びに行きました

右から、従姉弟の阪太郎君、おばさんのリエちゃん、従姉弟の祐ちゃんと私

をあげられて(アメリカからお菓子を送るだけじゃなく)、私(一人が・・・)満足しています。でもめげてません!



↑ 2005年9月21日
「となりのトトロ」にでるバス停で記念撮影
左から、私、クリスティーナ、のりこ

↓ 2005年9月21日
名古屋城に行きました。金鯱は…鯨なの？…
左から、のりこ、クリスティーナ、私



そして、日本本土にも行きました。夏休みの間に東京と名古屋に行きました。東京ではお買い物が目的だったからお金がすぐなくなりました。(仕様もない物ばかり買ったような・・・)そして、あまり観光する時間がなかったのが残念でした。でも、とても楽しかったです。クリスティーナと日本人の友達(のりこ)と一緒に愛・地球博に行ってきました。(イエーイ!)一日だけでは足りませんでした。もっと、もっと遊びたかったです。次の日は名古屋城に行きました。その日の三時に沖縄に帰らなければいけなかったのが、大急ぎで名古屋城に行って遊んで来ました。

遊ぶだけではなく、ちゃんと勉強もしました。一番成果が見えたところは、私の漢字がきれいになりました。(読み、話しは来る前から一通り出来たので、一番苦手を書きて一番成果が見えたのです。)いろいろな事をして、いろいろな事を学びました。先生達に感謝しています。

私は後学期に「現代の国際関係」と「女性と社会」を取っていますが、とても難しいです。知らない単語(専門用語やあまり日常生活に使わない単語や単なる知らない単語)が飛び交っていました。テスト期間間近になって、とらなければよかったと思いはじめています。(大変です。わかりません。)でも、とったからには、努力して、出来るだけの結果を出したいです。だからがんばります。

・
・
・

疑問です。ハワイは国ですか？
留学生のスピーチ大会のときも「名前(国)」と言かなければいけませんでしたが、ハワイは、アメリカ合衆国の一部、ハワイ州のはずなのに、先生達は、国を「アメリカ」ではなく「ハワイ」と書きなさいと言っていました。とても不思議です。私も「カリフォルニア」と書きたいです。不公平です。

それはともかく、
終わる事がが悲しいです。
(`△`)アァー
(/I/I)/あうい。。。。
。。。。(>へ<)。。。。ビエーン
。。。。。(i/I/i)。。。。うええん

そして、この留学経験はとってもいい経験でした。皆さんのおかげで楽しかったです。

どうもありがとうございました！
アリガタビーム!!(ノ・_・)……………☆ビーン

「富士山、芸者、腹切り」というと、何のことだかわかりますか。ピンときた人もいると思いますが、外国で日本というイメージされるものだと思います。インターネットが発達し、いろいろな情報が簡単に手に入れられ、テレビの画面で世界の様子が手に取るようにわかる時代になっても、まだ日本人は着物で生活していたり、切腹したりする人がいるのだと勘違いしている外国人も多いようです。こんなふうに日本が目映っているなんて、こっけいですが、心外に感じませんか。実は私も日本に来て、勘違いが多いことに驚きました。日本に対する勘違いではなく、カナダに対する勘違いや誤解です。

一つ目は住んでいる場所についてです。みなさんは、カナダ人はどんなところに住んでいると思っていますか。大自然に囲まれ、森や山で、丸太小屋に住んでいるというイメージを持っている人も多いのではないのでしょうか。カナダという国は、もちろん広くて自然があって、人■も少ない方ですが街はにぎやかで、高層ビルだってたくさんあります。

またカナダには 熊、山猫、ヘラジカなどたくさんの動物が生息していますが、普通に生活道路を歩き回っているわけではありません。もちろん私も動物■でしか見たことはないのです。

次に、気候に関する勘違いです。カナダは冬が長く、とても寒いのは確かですが、カナダ全国がそういうわけではありません。私の出身の都市、バンクーバーは■海岸にあり、南から来る暖かい海流の影響で冬でもそんなには寒くならず、雪もあまり降りません。日本の東北の方がずっと寒くて雪が積もる場所です。

三つ目は初めて日本人と食事をする時によく、豆腐という食べ物を知っているのかとか、「醤油って聞いたことある」とか、「ゴーヤーを食べたことあるのかなど聞かれます。もちろん私は豆腐や醤油を知っています。ゴーヤーも食べたこともあります。ですが日本人はカナダに日本製品や日本食は一切ないと考えているようです。今はカナダではどこに行っても日本レストランは探せると思います。バンクーバーはとくに日本人が多く、たくさんの日本企業が店を出しています。ここ最近、日本でも大きいチェーンストア、百円の店ダイソーや中■本屋ブックオフもバンクーバーで店を開いています。

最後に言語です。日本人も留学生でも私がカナダ人と聞くと、フランス語がペラペラだと思われてしまいます。カナダには、フランスとイギリスから移住してきた開拓者がいて、フランス語も英語も母語として使われています。です

が、フランス語はカナダでフランス人が住んでいる州、ケベック州でしか使われていません。他の州は全部英語です。私の出身地バンクーバーという町は、ケベック州からはとても遠くフランス人はあまり住んでいないのです。フランス語は小学校の時、二年しか習わないのであまり難しいことも学びません。今はほとんど忘れてしまいました。

なぜカナダ人はみんなフランス語を話すと思うのか尋ねると、「学校でカナダのことについて勉強したときは カナダの大自然、ロッキー山脈やナイアガラの滝、そしてカナダにはフランス人がいっぱい住んでいるケベック州のことしか勉強していない。」という返事が多いです。図書館でカナダについての資料を探してみたらこの三つの情報についてたくさんありましたが、他のことについて少なかったです。

どうしてこのような勘違いや誤解が生まれるのでしょうか。それは授業の中での教育ではないでしょうか。もちろん日本だけではなく**世界の国々が外国を学ぶこと**に対して問題になることかもしれません。教科書に書かれている情報だけで国や異文化を評価していると誤解を招きやすいことを、教える側の先生達は生徒達にはっきり注意しないといけないと思います。そして学ぶ側の生徒達もインターネット、テレビや教科書などさまざまなメディアを使用して正しい知識を理解するようにならないといけないと思います。

私も留学生や日本人学生と友達になって今まで知らなかったことを学ぶことができ、私も他の国に対して間違った情報や、勘違いなどに気づきました。沖縄にいる間、せっかくたくさんの留学生が集まっている琉大で勉強する機会が出来たので 日本のことだけではなくいろんな国のことを学んで帰りたいと思います。そして自分もみんなにカナダという国のこと教えたいと思います。

沖縄でのすばらしい経験

ブラジル 宮城エリーザ美幸

沖縄へ留学してもうすぐ一年が過ぎようとしています。気が付けば一月。時が経つのを忘れてしまうような一年間でした。

小さい頃から憧れていた沖縄での暮らしと大好きな琉球舞踊が専門にある大学への進学。それが沖縄県立芸術大学への留学という形で決まった時は本当に嬉しかった。

本場沖縄で舞踊を学べる……。その日が近づくと心は喜びと興奮に満ちあふれていきました。沖縄には何度か来ていたせいか、正直、不安などは感じていませんでしたが、実際住んでみると、すぐに留学という言葉に含まれている苦労や辛さがわかりました。さらには親元を離れて一人暮らしをするという事がどれだけ厳しいものかもわかりました。それではじめは寂しさのあまり泣く日が何日も続きました。でもしばらくすると、そう考える時間の余裕もなくなるくらい忙しくなりました。

大学では舞踊のほかに組踊、三線、琴、太鼓、扮装法などを学びました。そのなかでも最も興味深かったのは組踊でした。なぜならブラジルの沖縄県人会の若い世代の中では組踊があまり知られていないからです。組踊は舞踊と違って台詞や演技力が必要とされる難しいものではありますが、私自身歌劇などにも興味があったため、逆に楽しく思えました。秋には学内演奏会があり、私は「万歳敵打ち」という組踊に先輩や同級生と一緒に舞台に立つことができました。私にとって初めての舞台です！緊張のあまりなかなか覚えられなかったのですが、本番では無事に成功しました。思い出深い経験です。

それから、扮装法の授業では舞踊に使われる衣装の着付け、髪結い、化粧などを教わりました。全て細かい作業が多く、今でも苦労しています。また、何よりも難しいのが三線や琴、太鼓などの演奏でした。技術を習得するにも時間がかかり、さらに芸能・芸術として演奏することの難しさを痛感しました。大学でのこれらの授業を通して、自分の好きな琉球舞踊だけでなく、何に対してもあきらめずに頑張る大切さがわかりました。

大学の他に琉舞道場にも通っています。道場の中での礼儀作法やしきたりは本当にきびしいものです。

ブラジルでの経験とは異なることも多く、初めは戸惑い、くじけたりもしました。八月には琉球古典芸能コンクールに新人部門で参加しました。一年間で最も辛かったのはこのコンクールのための稽古の期間だったかもしれません。厳しさにたえきれず何度もあきらめかけましたが、先生方や先輩達にはげまされ、不安をのりこえてなんとか合格することができました。辛かったのと同時に一番嬉しいできごとでした。

コンクールが終わり、落ち着いた頃からは、機会があれば公演にも参加させてもらえるようになりました。今では公演に参加するという事をごく普通のように感じていますが、実際に本場沖縄の舞台を踏み、自分の踊りを披露できるということがどれだけ幸運ですばらしいことか！ブラジルでは味わえない感動的なことです。

留学期間の中で、もう一つ嬉しかったことがあります。今年度の留学生たちと出会えたことです。それぞれ意志を強く持った、やさしく楽しい人たちばかりです。皆でお祭りやいろいろなイベントに遊びに行った時は楽しくてしかたありませんでした。彼らと知り合ったことは私の考え方が変わるきっかけにもなりました。皆に感謝しています。

沖縄に来てすぐの頃は何に対しても不安をいだき、泣いてばかりいました。留学したのはまちがだったのではないかと思わない日はありませんでした。心のゆとりがなくなり、生活を楽しむことを忘れてしまっていました。でも、今はちがいます。今ではそう考えていた自分を恥ずかしく思います。私にとってのこの一年はブラジルでは決してできない経験ばかりです。自分がどれほど恵まれているのかを実感しています。この一年、失敗はかぞえきれないほどありました。でも、私は強くなりました。

こんなすばらしい機会を与えてくださった皆様、そしていろいろなことを教えてくださった先生方、そしてたくさんの友達に心から感謝しています。

これから先まだまだ学びたいことはたくさんあります。沖縄でのすばらしい経験をブラジルでも活かしたいと思います。これまで親切にしてくださった皆さまへの感謝の気持ちを持ち続け、そして、どんな時でも初心に帰ることを忘れずにもっともっと頑張っていきたいと思います。

本当にありがとうございました！！！！

旗頭フェスティバルにて玉扇会のみんなど





学内演奏会 組踊

末吉公園 組踊記念碑の前にて
留学生達、道場の先輩と一緒に
寒い夜に



くるくまレストランにて日本語教室の中川先生と
娘さん葵里ちゃん、コーディネーターの真栄城さん、
そして留学生の先輩方達と（ハッサンさん、ごめんネ）

うちなー大好きさー！！

ブラジルから来ました斉藤悟レアンドロです。三世です。私は子供の時から、沖縄が好きで、ずっと沖縄に留学を希望していました。五歳の時琉球舞踊を始め、七歳に初めて沖縄来て、玉城流扇寿会谷田嘉子、金城美枝子琉舞道場に入りました。あれから十二年になり、去年は沖縄県留学生として来沖琉球新報社の琉球古典芸能コンクール優秀賞受賞しました。又、太鼓は光史流師匠小渡和道氏からならい、新人賞を受賞しました。

この一年間、毎日学校に行きながら、琉舞道場や太鼓道場など通っていました。いつも、自分の好きな事で忙しくて、とっても楽しかったです。又、いろんな良いチャンスがいっぱいあり、とってもラッキーな一年だと思っています。■立劇場おきなわや沖縄県かりゆし芸能公演で踊る事が出来、稽古で忙しかったけれど、とってもいい勉強になりました。

沖縄県立芸術大学では舞踊や三線、箏や太鼓、組踊など、ならいました。やっぱり、琉球舞踊をやる人は、楽器など知ることとっても大切な事です。それを芸大に来て感じました。ブラジルに帰っても、舞踊の他に三線、箏、太鼓などつづけたいと思っています。

大学ではいろんな流派の先生方から踊りをならいまして、とっても良かったと思えました。自分の道場の踊りと違ってとっても楽しかったです。友達もいっぱい出来て、嬉しいです。一年生はほとんど同級生で、たくさんの思い出が出来ました。その友達も違う研究所から来て、面白いです。芸大生としていろんなチャンスがありました。去年の七月に学内演奏会があり、初めて一年生と踊りました。その後芸大の定期公演でせんばい達と組踊に出ました。先輩達と出る事はとってもいいチャンスなのですが、緊張しました。又、十一月に芸大祭があり、その時も参加しました。楽しいお祭りでした。今年に入って、大学院生の修士演奏会があり、創作組踊などに出ました。

沖縄に来て自分が好きな事ばかり出来たので、帰るのは辛いです。毎日、学校で舞踊の研究をして、又、夜は琉舞道場など通ったり、ブラジルに帰ったら寂しくなります。友達にも会える事も無くなるし、遊べなくなるからとっても悲しいです。でも、ブラジルに帰って、勉強をして、大学も通いたいと思っています。ブラジルでは踊りだけで生活出来ません。ですから、仕事もやりながら琉球芸能をやりたいと思っています。自分が今まで沖縄で勉強したものをブラジルの皆さんに広めたいと思っています。それは私の一つの目標です。一世達が遠く沖縄から持ってきた琉球芸能を今までブラジルに残っていますので、ぜひ、守って、保存をしたいと思っています。一番大事な事は、今の若者、三世、四世などが続けていくことだと思います。若者達が守らないと、琉球芸能は無くなると思います。ですから、ブラジルに帰って、ブラジル沖縄県人会のため、又、芸能のために頑張りたいと思っています。頑張ります！

ブラジル沖縄県人会、財団などのおかげで沖縄で勉強が出来ました、私はとっても嬉しいです。感謝しております。先生方や友達、親戚などにいろいろお世話になりました。ありがとうございます。

この一年間の事は、私の心に思い出として残ります。又、沖縄に来る事を、楽しみにしています。

天からの贈り物

人生の中では、自分が何をするのが決めていても、時々予想していなかったことが起きます。それが自分の運命です。

私が2002年に日本の神奈川県に仕事をしに来て、十一ヶ月ぐらい住んでいたとき、日本人と話す機会があまりありませんでした。日本にいましたが、日本人と接触することがなかったんです。ただ挨拶だけでした。とても残念だったと思います。その後、アルゼンチンに帰って、大学を続けました。私は再び日本に戻ることを、本当に考えていませんでした。そして大学を止めて、外国に行くことはぜったいにないと思っていました。それに関してはしっかり決めていたつもりでしたが、一昨年大学から日本に一年間留学するチャンスがあると連絡があった時、とても驚いて、この大きな機会が与えられたのでぜひ、それを生かそうと留学の準備を始めました。

私の人生目的は、自分の視野を広げることです。ですから日本に来て日本の文化や習慣などを理解して、違う考え方を知ろうと来ました。

この一年間では、いろいろなことが経験できました。大学の三線や合気道、生け花などのサークルに参加したり、琉球舞踊や日本語や日本とアジア事情の授業を取ったり、そして老人ホームでボランティアすることも出来たので沖縄と日本の文化について広く学びました。また韓国に行われた学生会議に参加することも出来ました。すばらしい経験でした。外の文化も知ることが出来たし、日本人と深い交流ができました。また、寮ではいろいろな国の人と出会うことが出来たのでとてもよかったと思います。友達も数多く作って、あらゆることについて話したりして、自分の視野を広げることが出

来ました。留学という経験は、私の期待を越えた素晴らしいものです。今まで、一番良かったことだと思っています。

沖縄という地は、私の祖父と祖母の母国なのでそれは私の母国だということにもなります。祖父と祖母が生まれたところまで来るのが出来てとても感動しました。

ここに到着したのが昨日だったと感じるくらい、私にとってこの一年はアツと言うまに過ぎました。これまで国に帰りたいという気持ちは全然ありませんでした。逆にもっと残りたいなあと思っています。

日本で学んだことは私の将来、また過去にもかかわってくるものです。それは私の人生すべてに役に立つでしょう。そして、いつまでも、いつまでも私の心の中に残ると思います。沖縄で作った思い出は私の宝物として大事にしておきます。

また、留学したことがまるで天の贈り物のようだと感じています。

皆さん、この機会を与えてくださって心から感謝しております。

田代 エリカ

私の原点を探しもとめて

山入端 カローラ

私は日系ペルー三世です。

私の両親とも末っ子なので私は祖父母を知ることができませんでした。

祖父母はなんでペルーに渡ったのかという話は全部叔父達のはなしで知ったものでした。

父方は玉城出身そして母方は北谷出身です。 沖縄に来たいという思いはつねにありました、私の家族、習慣そして原点を知りたかったのです。

ペルーでお金をため日本へ旅行しにくることは不可能に近いのです。

父はいつも沖縄について誇り高く話してくれました、前の私なら理解できない誇りでしたが今はそんな父よりも先に沖縄に来て沖縄を知ることが特権に思います。 シマンチュー魂はこの土地を踏んで、自分の目で見て始めて分かるものです。

私の父は沖縄の土地を知ることにはまだないのですが祖父母から伝えられた、協力、団結、苦しみに楽天的になること、その思いを彼は伝えることができたのです。

祖父母達は三味線がとてもうまく、いつも盛上げ役くだったそうです。

ペルーにいた頃は興味がなかったのですが、沖縄に来て気がつきました、どんなに苦しくてもウチナーンチュは人生を楽しむ人々だということ。

私の祖父母について、私の家族、私のイデンテイテイ、私の一部である沖縄の文化の価値観そしてこれから全部誇りに思っていることをこの二枚紙にあらわすことは難しいのです。

自分のイデンテイテイを探り、大事にするためには、祖先のことを聞き、調べるだけでなく、その土地に来て自分で感じる大切である。自分の歴史を探し、踊りを知り、歌、住んでいる人々、私は沖縄を知ることができて、深く感謝しています。 そのおかげで私というものをもっと知ることができ、私の家族、私の一部である沖縄の文化に触れ、大事することが出来ます。

私は今沖縄の文化を理解しています。 私はこれからペルーにいる移民に沖縄の文化を伝えることができ、「島人ぬ宝」の歌詞のように、教科書にはない沖縄の宝を伝えています。

皆に伝えたい一年間

ブラジル 玉城 ジュリー

沖縄へ来てもう十ヵ月になりました。私はこの十ヵ月名桜大学で日本語や沖縄と日本の歴史と文化を学んできました。

沖縄へ来る前私はとても喜んでいて少し興奮していました。ボリビアを発つ時の空港ではとても緊張していました。早く沖縄へ到着したかったので家族や友達とのお別れは5分もかかりませんでした。そして飛行機での30時間もあっという間に過ぎました。

沖縄に着いた時期が少し遅かったので一生懸命勉強を始めました。名桜大学では科目を選ぶことが出来るので便利でした。前期の日本語の授業では論文を書く練習をしたり、漢字と文法の勉強をしました。また、他の科目では沖縄の歴史と文化、琉球舞踊といった沖縄についての科目を履修しました。後期で特に学んだことは沖縄の平和への願い、沖縄人の健康と長寿、そして日本のことわざです。

授業のあとは三線サークル、水泳部、バレー部に参加していました。サークルは日本人の友達を作るきっかけにもなりました。

沖縄の夏は最高だと思います。海は美しく、空も完璧です。ボリビアでは空は完璧ですが海はありません。私が始めて沖縄の海を見たのは名護へ行くために高速道路を車で走っていたときです。その日の天気はよくありませんでしたが、海はとても美しかったです。その美しい海で泳ごうと私は水泳をやり始めました。

夏休みには親戚の家へ行ったり、友達と海へ行ったり、沖縄を少し観光したり、ボランティアサークルの人と老人ホームへ行ったりしていました。ある日は友達に誘われてハーリーの体験をしてみました。大変下手で疲れましたが、とても面白かったです。

その上一週間大学の関係で韓国へ行ってきました。そこで、日本、中国、韓国の学生と面白い交流ができました。韓国でいい思い出を作ることが出来たので、この旅行を実現していただいた方々に感謝しています。

冬休みには東京都、京都府、広島県、埼玉県へ行ってきました。日本列島は小さいですがいろいろ違ったことがあるのに気付きました。

名桜大学の寮では一人ひと室なので時々部屋から出るために友達と一緒に生け花や折り紙をしていました。寮で作った友達は優しく、とても親切な人たちです。

沖縄でたくさん素晴らしい事を学びました。その学んだことをボリビアの友達や人々に伝えたいと思います。特にイチャリバチョーデの気持ちです。残念ながら海を持ち帰ることは出来ませんが、私が見た、そして感じたウチナーはボリビアに持って帰ります。

最後に、この一年間お世話になった皆様、どうもありがとうございました、イッペーニーヘーデービル、この一年かんは大切に私の心の中に残しておきます。

沖縄に来てあつという間に一年が経ったのである。沖縄に来る前にいろいろ想像して眠れない日々もあったのを今でも覚えている。沖縄に来てから最初のイメージは「わぁーやっぱり南国だ。リゾート地だ」と私を待っていたのはひとつ曇もないぐらいの青空の沖縄である。期待と不安を抱えながら、空港で待ってくれた財団の人たちの笑顔を私の心をほっとさせてくれた。大学につくまでの道のりも詳しく紹介してくれた。留学経験は初めてではない私がすごく沖縄の独特な暖かい人情味を味わった。大学を到着した後は宿舎とキャンパスの案内もとても詳しくて、ここで安心して勉強できるのだとすごく感じたのである。

その後、研究生としてやってきた自分が、大学の側から大変いい先生を指導してもらうことを知り、本当に感謝の気持ちでいっぱいだ。自分が女性について研究しているので、社会学の専門の先生のもとで勉強するのは長年の夢であって、ここでかなえるのは本当に夢のまだ夢であった。社会学国際学の鈴木先生は初対面から私の研究についてすごく応援してくれて、一所懸命指導したうえ、私の専門知識が足りない部分も外の先生にお願いをし、私を指導してくれようといろいろしていただいて、自分の研究に大変役に立ったの。また、資料の収集のため、東京に二ヶ月くらい行く事になったときにも、先生と財団のほうも快く応援してくれた。さらに、先生のアドバイスで2007年度の琉球大学の大学院の試験を無事に合格したのは、全部財団の奨学金の支援と先生の専門知識上の応援で自分の勉強を何一つ支障なく安心して勉強することができたので、本当に心から感謝している。

次に寮での生活も本当に素晴らしい日々を送っていたのである。寮に入ってから外国人の私に難なく受け入れてくれて、これも沖縄の暖かい天気の影響だろうか、人情をあふれるところで、自分の必要な日常生活用品をわざわざ車でスーパーなどを連れて来て車や自転車さえもない私にとって本当にすごく助かったのである。雨が降ると心配で車で法文学部まで迎えてきてくれる寮の友達・真希をみて、本当に涙が出るほどだった。

研究生の授業は忙しい時に、テーマや課題に躓いたときに、手を差し伸べてくれた研究室やゼミの友達もいった。ドライブを連れていたりする王さん、体の体調を心配してくれたタイの留学生のケイさん・ブイさんたちは本当に私の一生の宝物である。

また、同じく県費の留学生同士は本当に始めてからそごまで仲良くなるのは想像にも見なかったのである。違う国々からくるから、習慣や生活様式をはじめ考え方や食文化までも違う人たちだから仲良くなっていくのはむりではないかと初対面の時から違和感を抱いた。しかし、人間は見かけによらずということわざをすごく理解できた。時間を経つにつれ、みんなよく一緒にカラオケに行ったり、お互いに困ったときに助け合ったりすることになったのである。誰か落ち込んでいる時に、やさしい声をかけて、夜をあけるまで話し合っただけでも励ましたりもした。急な用件ができたとかかするときもだれか手をあいていたら必ず助けに行ったりすることをすごく感動だった。

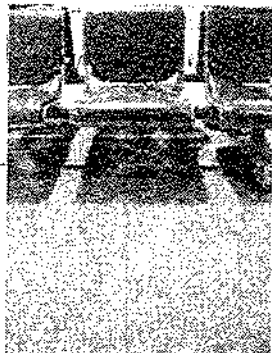
沖縄に来てなかったら、私の人生観をどれほど狭いことを知らずに生きていたと思う。

ここに来て、素晴らしい仲間ができ、素晴らしい先生たちとの出会い、自分も国へ戻って、将来先生になることがあったら、必ず自分の学生に沖縄の美しさを伝えたいと誓う。本当に沖縄に来てよかった！

(Contents)

20050417-20060301 NO. TAIWAN

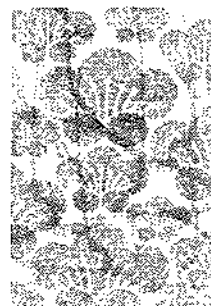
沖繩の日々



La partida
Departure 出発

Dormitory
寮の暮らし *Residencia*

The Japanese language
日本語 *EL IDIOMA JAPONES*



Resultados
Accomplishment

My friends
Mis amigos 友達



Tour
沖繩をめぐる

My teachers
Mis maestros
先生方

Viajes

廖偉汝
Taiwan · Taipei

國立台北教育大學
藝術與藝術教育學系 93級
National Taipei educational
University
Art And Art Education Dep.

Go!



2004の冬、台湾で試験に受かって、沖縄に来る事になりました！
台湾の教育部（日本の文部省のような台湾の政府部門）と
中琉文化経済協会の方も色々な話し合いをしました。
本当に、心から感謝しています。
そして、芸術専門の私は沖縄文化の独特性と多様性に引かれて来て、
とてもわくわくしていました。

Departure 出発

久米島紬、琉球紅型、八重山上布、琉球緋、首里織、宮古上布、読谷山花織、ミンサー織、与那国織
琉球ガラス、焼き物



The Japanese language
日本語

指導教官副島先生、与那覇先生、ケリ綾子先生、赤嶺先生に誠にありがとうございます。授業で、詳しい説明を優しくしてくれて、元々、つまらないと思っている言葉の勉強がすごくおもしろくなってきました。

日本語で話す時、もっと自分の気持ちを伝えたいと思います。普通の話と冗談もだんだんわかってきました。会話や、聴解や、文法や、作文などの授業で日本語はただ外国語を習うだけじゃなくて、本当に身に付けるようになってきました。

浦添市の福祉センターでおしゃべりサロンにも日本語で日本人と色々なテーマの交流をとおして、日本文化と日本人の生活がわかるようになりました。

赤嶺先生と平林先生は私達に漢字の授業を教えます。でも、授業でもっと深いものをいっぱい教えてもらいました！はんこを作ったり、見舞いはがきと年賀状を書いたりして、書初め、折り紙...昔、本から見たものを実物につくるのはすごく楽しかったです。こんな色々な文化活動の体験が忘れられないです。



▶ 群馬から、私に会いに来た聡美と宜典



▶ 晴の雨皇親のアグのカナバーで、アクお兄さんと後ろにいるスンせん。



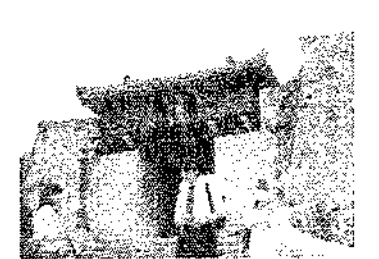
▶ 最初の見学、初級一組(5人...ひかない)と与那覇先生、ケリ先生



◆ 台湾大学と研大の交換留学生、ミカンちゃんじずかちゃん。そして、私とピンちゃん。



▶ 児玉和子さんと銀さんの麻子、謎言(きたー一人にいる、東紗)



▶ 副塾先生とエスタ

財団から紹介したHOMEVISIT、新田家の息子さんが♪
徳名園に連れて行きました。
とても、暖かい家族！



▶ アメリカの友人、花ちゃん！



▶ とても優しい千鶴さんです！



▶ 親友の謙治さん、スピーチの原稿が終わった時の様子



▶ 忘年会！すごく楽しかった！

友達

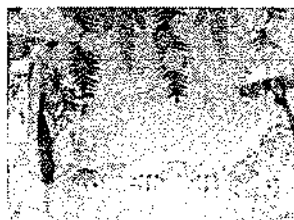
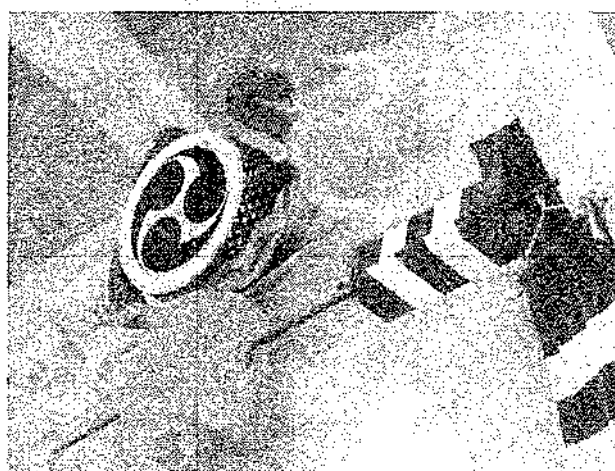
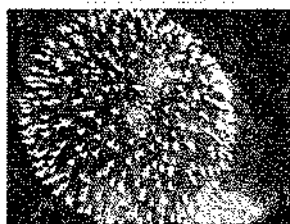
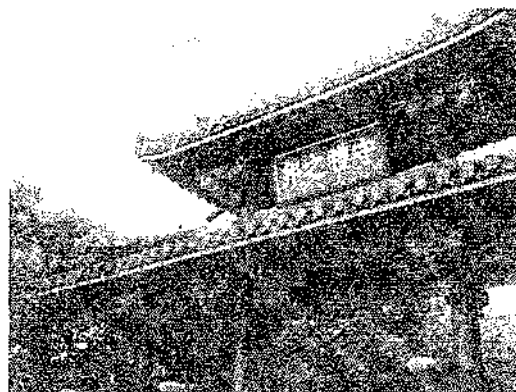
My friends

先生方

My teachers

国々の友達とうちなんちゅー達.....
一緒に最高のメモリーを作りました！

異文化の交流

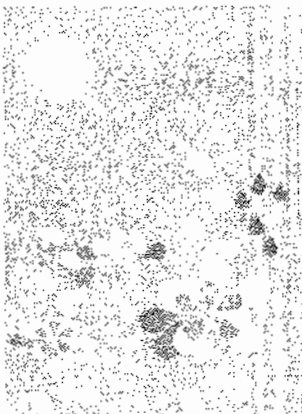


Tour 沖縄をめぐる

琉大と財団が私達にもっと沖縄の文化と歴史を教えるために、
 たくさんのお見学と体験活動を手配してくださいました。
 水族館、県庁、モノレール、首里、読谷村、やんばる、ぶくぶく茶...
 そして、友達と花火大会、恩納村、糸満、辺戸岬...
 たくさん思い出を作りました！
 沖縄はいったいどんな綺麗なところなのか、
 どんな特別なところなのかやっと知りました。



一年間の留学生生活を経て、色々な国の留学生達と出会ったことが出来て、沖縄文化と日系と基地の問題を
 考え、本当に沢山の勉強になり、自分の考え方も広がりました。
 沖縄のおかげで、感じられるものがこれからもずっと体の中に生きています。
 そして、沖縄県、県庁の方々、人材育成財団の方々、琉球大学法文学部の先生方々、教育学部の先生方々と
 留学生センターの方々、女子寮A-2の皆(百合子、千鶴、美晴、かおり、さやか、このえ、正子、友美二人、
 朝香、夕華子)、同じ授業をとった日本人の学生、また沖縄で出会った人達、
 みんなにお礼を申し上げたいと思います。
 この一年間、大変お世話になりました。心から感謝しております。



芸術作品のアイデアが
 ところどころで見える 沖縄に感謝します
 空と海の不思議な青いさに感動しています
 サンシンの音が耳の傍で流れています
 私は沖縄にいると感じます

Accomplishment

Special Thanks:

照屋さん、上野さん、与那覇先生、副島先生、
 ケリ先生、赤瀬先生、平林先生、西村真雄先生、
 比嘉佑典先生、大城美城雄先生、新田まり子さん、
 児玉和子さん、上原初江さん、藤栄城りえさん、
 遠天修さん、吉村先生、富岡ゆきのさん、
 大城潤さん、大城勇治さん、黄瀬さん、本村純さん



笑いたい！泣きたい！沖縄！！

笑いたい！泣きたい！沖縄！！

私は中国から来た県費留学生ですが、実は日本に来たばかりの頃、日本語が全然話せなくて、困りました。そのときは一緒に中国から来た友達が時々通訳してくれたから感謝で胸がいっぱいです。いい友達がいれば、それ以上に嬉しいことはないだろうと思いました。それから、日本語を勉強し始めました。



けり先生・与那覇先生・平林先生

私は中国では活発で、おしゃべりな人ですが、日本では言葉が分からないから静かになりました。眠る時間以外では中国語がしゃべれる友達といつでもどこでも一緒にいました。それはもちろんよいことではありません。なぜならば、友達は私がいると自分のことが何もできないのです。私はいつも友達に頼ってばかりで、悪いと思うので、これからもっと日本語ができるようにと、日本人と友達になるようにと努力していきたいのです。

私はクラス
メートより
一ヶ月も遅
れて、初めて
の授業をう
けました。私
はいつも不
安でそわそ
わしていま
した。しかし、
先生方は優
しく教えて



偉洋・敏玲・私・純綾

くださり、いろんな国から来たクラスメートたちも優しく接してく

○ れたおかげで、毎日彼らと仲良く勉強もできて、色々な活動もして、とても楽しい日々を送りました。その上、日本語のレベルが上がる



前期の初級Ⅱ組 全員写真

ように、先生方は日本人と交流する機会を探してくださいました。例えば、小学校の学生と交流したり、日本人大学生と会話したりする場まで作ってください

ったのです。それから、私は日本語が少しずつ話せるようになりました。

また、日本語を勉強するだけではなく、日本の文化、沖縄の文化についてもたくさん学ぶこともできました。悠久なる歴史の首里城や日本一番うつくしい水族館、沖縄県立博物館などへも行きました。そして、読谷村にも行きました。その時、読谷村の方々から沖縄三線の始祖は赤犬子とか沖縄の特産は紅芋とか琉球ガラスの作り方など色々な文化を教えてください、いい勉強になりました。

また沖縄県国際交流人材育成財団のみなさんは県費留学生の私達



照屋・ケンキ



毎姉・私

のために、わざわざ休みを利用して、ビーチパーティーや忘年会などをして、あまり会うことができない県費留学生たちとの交流する場を設けてくれて本当に心から感謝しています。これだけではなく、沖縄県国際交流人材育成財団のおかげで、ホームステイ先のもできました。ホームステイのマリ子さんは親



桑田宗秀さん・新田マリ子さん・淑玲

切してくれて、識名園も連れてくれて、お正月のお雑煮も作ってくれました。さらに、私の誕生日までも覚えてくれて、すばらしい花鉢を贈ってくれたので

す。家族のようなほのぼのとした暖かさを異国で留学している私はウチナンチュの人情味を

強く感じました。この一年間本当に楽しかったのです。こんな素敵な経験を与えてくれたマリ子さんに感謝したいと思います。

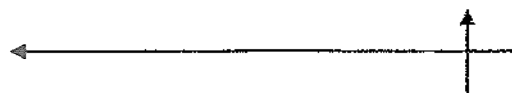
○

この一年間にうれしいことも悲しいこともあったのですが、全部大好きです。この一年間が絶対一生忘れません。沖縄でこのすばらしい経験ができたのは沖縄国際交流人材育成財団、琉球大学の先生方のおかげです。本当にこの一年間ありがとうございました。クラスのみんなとほかの県費留学生に出会えて、本当によかったです。



沖縄県留学生大会（徳津・宗・純・私・ノゾ・淑玲・エリカ）

また会いましょう！！！！



島んちゆぬ宝

中国 吳敏玲

大学の頃から、日本へ留学するのは私の夢です。去年の四月に、沖縄県と人材育成財団のおかげで、こういう夢がやっと叶うようになりました。那覇空港に着いた時、自分が本当に日本の土地に踏んでいるのが夢のように信じられないほど、万感胸に迫っていました。その興奮感は今まで心の中にとどめています。あとわずかの一ヶ月で沖縄と分かれるけど、ますます沖縄から離れたくない名残りおいしい気持ちです。

沖縄と中国の交流の歴史は今から 600 年前の琉球王朝時代までに遡り、福建省の福州を拠点に展開された中国との友好関係は、その後 500 年も続きました。福建省出身の私にとって、初めての日本留学は沖縄に来てよかったと思います。せっかく沖縄に来て、沖縄の独特な歴史文化をもっと勉強して、もっと知りたいと思うので、この一年間の研究テーマとして、「中国文化の影響を受けた沖縄文化」について勉強してきました。指導教官の赤嶺先生がたくさんの本を紹介し、たくさんの論文資料も提供してくださいました。研究経験のない私にいろいろ研究方法を教えてくださいまして、本当にいい勉強になりました。留学期間中に勉強したものを少しでも多く、私のキャリアに活用できればと思っています。



沖縄のたくさんの風習は福建省のと似ています。たとえば、沖縄に着て一番最初に触れた風習——5月の那覇ハーリー祭りはその中の一つです。ハーリーチームの人も応援する人も一緒に頑張ってる様子を見て感動しました。そのほかに、シー



サーや三線なども中国から伝わってきたのです。沖縄料理の中に、おでんとかチャンプルとか福建料理と似ているものもあります。どこへ行っても、エイサー、三線と太鼓の音が心に響き、親しい感じがして、まるで第二故郷のように思うから、全然ホームシックになりませんでした。

沖縄は世界有名な観光地ですから、この一年間にたくさんの所へ遊びに行ってきました。首里城公園、勝連城遺跡、海洋博水族館、東南植物園、玉泉洞、平和祈念公園、万座毛、伊計島、座間味島、慶良間列島、阿嘉島、どこでも楽しい思い出がたくさんつくり、すばらしい記念写真もたくさん撮ってきました。



ビーチパーティー
座間味の海



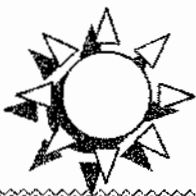
周知のように、沖縄の海が一番きれいだと思います。中国でもたくさん海を見たことがあるけど、こんな鮮やかな色がしている海ははじめて見て、すごく感動しました。ドライブをしながら、そんな広

6月25日、人材育成財団に誘われて、浦添市の琉球茶園へ見学に行き、ぶくぶく茶を飲みながら、琉球茶道も勉強しました。また、財団主催の交流会とビーチパーティーにもたくさん参加して、いろいろなコミュニケーションができて、素敵な経験になりました。沖縄県中国留学生協会の皆さんと一緒に沖縄県立向陽高校へ行って、学生たちの中国語学習成果発表会と日中交流会に参加しました。12名の高校生の素晴らしい中国語スピーチで感心させられました。9月に具志川中学校の国際交流にも参加しました。学生たちと世界各地の食文化、芸能文化などを交流したり、一緒に学校の給食を食べたり、卓球をしたり、歌を歌ったりして、一日楽しい交流でした。

くてきれいな海を見た瞬間、自分の心も広がって、全ての悩みも忘れられると思います。でも、沖縄では一番きれいなのは海ではなく、海よりもきれいなのはうちなーんちゅの暖かい心だと思います。人材育成財団の紹介で、去年の十二月に、ホームステイの新田さん家族一家と出会いました。短い時間だったけど、よく食事や家族の集まりに参加させてもらったり、あちこち観光に行ったりして、本当に家族のように親しくしてくださいました。お正月の時、たくさんおいしいお正月の伝統料理を食べさせてもらったり、沖縄料理の作り方も教えてくれたり、餃子会で一緒に餃子を作ったりしました。はじめて日本人の家庭でお正月を過ごすことが体験できてよかったなと思います。一番感動なことは新田さんが私の誕生日パーティーも開いてくださったのです。新田さんの自分で作ったきれいな生け花のプレゼントもいただきました。こんな素敵な思い出を与えてくれた新田さんに感謝したいと思います。たぶん、うちなーんちゅが明るい青空と素晴らしい海に包まれて暮らしているの、広くて優しい心が育ってきたのではないか、素晴らしい海も沖縄の人にとって一番大事な島んちゅぬ宝だろうと思います。



沖縄の土地を踏んでから、ここでの一日一日は桜の花のように短く、美しくしかも貴重な青春時代を飾ってくれました。この一年間は沖縄県と人材育成財団のおかげで、何も心配なく、留学生活と勉強がスムーズにできて、誠にありがとうございました。沖縄に何か恩返しできればいいなとずっと考えています。帰国してから、沖縄の素晴らしさを学生たちに伝えたいと思います。また、沖縄と中国との交流促進の架け橋になれるように、これからも頑張っていきたいです。



平成17年度 沖縄県海外留学生修了報告書

発行 財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

〒900-0034

沖縄県那覇市東町1-1 那覇東町会館7階

TEL：098-941-6755

FAX：098-941-6812